

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
品質管理の方法等に関する  
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：一次冷却材の循環設備  
主配管

要領書番号：原規規収第1909172号01

令和元年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査の種類 品質管理の方法等に関する使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
原発本第97号(令和元年9月17日)  
原発本第115号(令和元年10月7日)  
原発本第167号(令和元年12月16日)
- 4 検査期日 自 令和元年10月10日  
至 令和元年12月23日
- 5 検査場所 九州電力株式会社川内原子力発電所  
鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山
- 6 検査範囲 工事に係る品質管理の方法等に関する事項  
川内原子力発電所第2号機  
発電用原子炉施設  
原子炉冷却系統施設  
一次冷却材の循環設備  
主配管
- 7 検査結果 良
- 8 添付資料 使用前検査記録  
1 検査前確認事項  
2 品質管理の方法等に関する検査  
3 使用前検査において確認した関連文書一覧表



## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月10日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号 （変更申請番号を含む。） を記載する。
		令和元年 12月23日	良	
		<del>年 月 日</del>	<del></del>	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 10月10日	良	
		令和元年 12月23日	良	
		<del>年 月 日</del>	<del></del>	
工事計画の <sup>届出</sup> 番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 10月10日	良	
		令和元年 12月23日	良	
		<del>年 月 日</del>	<del></del>	

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
法令、規格、工事計画、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和元年 10月10日	良	
	令和元年 12月23日	良	
	年 月 日		

川内原子力発電所第2号機		
使用前検査記録 品質管理の方法等に関する検査		
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所		
検査範囲：工事に係る品質管理の方法等に関する事項 川内原子力発電所第2号機 発電用原子炉施設 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管		
判定基準	検査年月日	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、届出された工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	令和元年 10月10日	継続
総合所見	本検査は、原子炉冷却系統施設の取替工事に係る検査であり、品質管理の方法等に関する事項に従い行われていることを確認した。なお、下記3, 4, 5については次回以降の検査において継続的に確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び供給者との間の責任及び権限が明確にされていることを確認した。また、工事及び検査が「調達仕様書」や「設計業務計画書」で定められた責任と権限に基づき実施されるとともに、体制の構築、情報伝達等が工事計画に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 工事及び検査に係る要求事項や組織体制等が「設計業務計画書」等で明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを「適合性確認検査整理表」、「適合性確認検査計画表」等により確認した。 また、供給者（調達物品や役務を含む。）の管理についても「調達仕様書」等により実施していることを確認した。	
	3 保安活動の実施 工事及び検査計画の作成について、規程類により定めていることを確認した。 また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試	

	<p>験及び検査についても規程類によって定めていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の実施について、継続して確認する。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <p>調達物品や役務、原子炉施設が要求事項に適合していることを実証するためのプロセスが明確にされており、計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価することが定められていることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者へ報告についても定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の評価について、継続して確認する。</p>
	<p>5 保安活動の改善</p> <p>予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が規程類によって定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の改善について、継続して確認する。</p>
備 考	

川内原子力発電所第2号機		
<b>使用前検査記録</b> <b>品質管理の方法等に関する検査</b>		
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所		
検査範囲：工事に係る品質管理の方法等に関する事項 川内原子力発電所第2号機 発電用原子炉施設 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管		
判定基準	検査年月日	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、届出された工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	令和元年 12月23日	良
総合所見	本検査は、原子炉冷却系統施設の取替工事に係る検査であり、工事及び検査に係る保安活動が、届出された工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 設計部門と発電所内各部署の連携及び体制の構築等について、申請者の規程類に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 工事及び検査の工程管理の計画等について、申請者の規程類に従って行われていることを確認した。	
	3 保安活動の実施 計画に基づいた工事及び検査の実施について、申請者の規程類に従って行われていることを確認した。	
	4 保安活動の評価 工事及び検査結果の評価について、申請者の規程類に従って行われていることを確認した。 なお、本検査において、不適合が発生していないことを確認した。	
	5 保安活動の改善 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が規程類によって定められていることを確認した。 なお、本検査において、不適合が発生していないことを確認した。	
備考		



## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 使用前検査において確認した関連文書一覧表

関連文書の名称等	備考
<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電用原子炉主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）</li> <li>・川内原子力発電所設計・調達管理基準</li> <li>・川内原子力発電所調達管理要領</li> <li>・川内原子力発電所設計管理要領</li> <li>・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領</li> <li>・川内原子力発電所保守基準</li> <li>・川内原子力発電所作業管理要領</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査基準</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査要員管理要領</li> <li>・川内原子力発電所適合性確認実施要領</li> <li>・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領</li> <li>・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準</li> <li>・川内原子力発電所教育訓練基準</li> <li>・川内原子力発電所保守課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所技術課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所ボイラー・タービン及び電気主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>2 保安活動の計画</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前検査業務要領</li> </ul> <p>発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）</li> <li>・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準</li> <li>・川内原子力発電所保安活動に関する法令・規制要求事項等の管理要領</li> <li>・川内原子力発電所設計・調達管理基準</li> <li>・川内原子力発電所調達管理要領</li> <li>・川内原子力発電所設計管理要領</li> <li>・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査基準</li> <li>・川内原子力発電所適合性確認実施要領</li> <li>・川内原子力発電所保守基準</li> <li>・川内原子力発電所作業管理要領</li> <li>・川内原子力発電所運転基準</li> <li>・川内原子力発電所放射線管理基準</li> </ul>	

- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・川内原子力発電所評価改善活動管理基準

### 3 保安活動の実施

#### 発電所

- ・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）
- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所工場及び現地試験・検査立会管理要領
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所識別管理要領
- ・川内原子力発電所保修基準
- ・川内原子力発電所作業管理要領
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理要領

### 4 保安活動の評価

#### 発電所

- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・川内原子力発電所予防処置基準

### 5 保安活動の改善

#### 発電所

- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所予防処置基準
- ・川内原子力発電所評価改善活動管理基準

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
構造、強度又は漏えいに係る  
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：一次冷却材の循環設備  
主配管

要領書番号：原規規収第1909172号02

令和元年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
原発本第97号 (令和元年9月17日)  
原発本第115号 (令和元年10月7日)
- 4 検査期日 自 令和元年10月18日  
至 令和元年11月25日
- 5 検査場所 九州電力株式会社川内原子力発電所  
鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山  
三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部  
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 川内原子力発電所第2号機  
発電用原子炉施設  
原子炉冷却系統施設  
一次冷却材の循環設備  
主配管 一式
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
  - 1 検査前確認事項
  - 2 材料検査記録
  - 3 寸法検査記録
  - 4 外観検査記録
  - 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
  - 6 耐圧検査、漏えい検査記録
  - 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 10月18日	平川 圭司	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 11月19日	高橋 和宏	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 11月25日	米林 賢二	発電用原子炉 主任技術者 ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし
年 月 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：一次冷却材の循環設備  
主配管 一式

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	令和元年 10月18日	令和元年 10月18日	令和元年 10月18日	年 月 日	令和元年 10月18日	
結果	良	良	良		良	
検査日	令和元年 11月19日	令和元年 11月19日	令和元年 11月19日	年 月 日	令和元年 11月19日	
結果	良	良	良		良	
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 11月25日	令和元年 11月25日	令和元年 11月25日	
結果			良	良	良	

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号を記載する。(変更申請番号を含む)
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		年 月 日		



川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		<del>年 月 日</del>		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		<del>年 月 日</del>		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		<del>年 月 日</del>		

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月25日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月25日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 10月18日	良	
		令和元年 11月19日	良	
		令和元年 11月25日	良	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	令和元年 10月18日	良	
	立会 記録確認	令和元年 11月19日	良	
	立会 記録確認	年 月 日		

川内原子力発電所第2号機				
材料検査記録				
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部				
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 * 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017	SUS316TP	令和元年 10月18日	良	記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-03-04-C *：検査対象のうち、ループA低温側1次冷却材管分岐点からループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線の範囲について確認				

川内原子力発電所第2号機				
材料検査記録				
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 <del>三菱重工株式会社</del> パナドメイン 原子力事業部				
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
※2 ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	SUS316TP	令和元年 11月19日	良	記録確認
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-03-04-C ※2：検査対象のうちループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線から弁2V-RC-017上流側第2溶接線の範囲について確認				

川内原子力発電所第2号機									
寸法検査記録									
検査場所：九州電力株式会社桂川原子力発電所									
三菱重工株式会社 パワードメイン 原子力事業部									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	外径 (mm)			厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法※1	許容値※2	測定値	主要寸法※1	許容値※2	測定値			
＊ ループ A 低温側 1 次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	89.1	88.209 ～ 89.991	/	11.1	9.7125 ～ 12.4875	/	令和元年 10月18日	良	記録 確認
備考									
※1：公称値、※2：許容値は工事計画による。 ・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN/2-1-03-04-C ＊：検査対象のうち、ループA低温側1次冷却材管分岐点からループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線までの管について確認									

寸法検査記録

川内原子力発電所第2号機									
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 三菱重工株式会社 <del>パワーストーン</del> 原子力事業部									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	外径 (mm)			厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法 <sup>※1</sup>	許容値 <sup>※2</sup>	測定値	主要寸法 <sup>※1</sup>	許容値 <sup>※2</sup>	測定値			
※4 ループA 低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	89.1	88.209 ～ 89.991		11.1	9.7125 ～ 12.4875		令和元年 11月19日	良	記録 確認
備考									
※1：公称値、※2：許容値は工事計画による。 ・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-03-04-C ※4：検査対象のうちループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線から弁2V-RC-017上流側第2溶接線までの管について確認									



川内原子力発電所第2号機									
寸法検査記録									
検査場所：九州電力株式会社桂井内原子力発電所									
三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	外径 (mm)			厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法※1	許容値※2	測定値	主要寸法※1	許容値※2	測定値			
ループA 低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	89.1	87.5 ～ 90.7	✓	11.1	9.7125 以上	✓	令和元年 10月18日	良	記録 確認

備考

※1：公称値、※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：QSSN 2-1-03-04-C  
 ＊：検査対象のループA低温側1次冷却材管分岐点からループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線までの管継手について確認  
 したし、ループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線は除く。

川内原子力発電所第2号機									
寸法検査記録									
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 三菱重工株式会社 <del>パワートライオン</del> 原子力事業部									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	外径 (mm)			厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法※1	許容値※2	測定値	主要寸法※1	許容値※2	測定値			
※4 ループA 低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	89.1	87.5 ～ 90.7	～	11.1	9.7125 以上	～	令和元年 11月19日	良	記録 確認

備考

- ※1：公称値、※2：許容値は工事計画による。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-03-04-C
- ※4：検査対象のうちループA 低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線に接する管継手の下流部（以下、同部位という）及び同部位から弁2V-RC-017上流側第2溶接線の範囲の管継手について確認

## 寸法検査記録

川内原子力発電所第 2 号機									
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	外径 (mm)			厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法※1	許容値※2	測定値	主要寸法※1	許容値※2	測定値			
ループ A 低温側 1 次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	89.1 / 89.1 / —	87.5~90.7 / 87.5~90.7 / —	～ / / —	11.1 / 11.1 / —	9.7125 以上 / 9.7125 以上 / —	～ / / —	令和四年 11月19日	良	記録 確認
備考									
※1：公称値、※2：許容値は工事計画による。 ・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-03-04-C									

川内原子力発電所第2号機			
外観検査記録			
検査場所：九州電力株式会社桂川内原子力発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 水 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017	令和元年 10月18日	良	目視
備考 ＊：検査対象のうち、ループA低温側1次冷却材管分岐点、およびループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線の範囲について確認。			

川内原子力発電所第2号機			
外観検査記録			
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 <del>三菱重工株式会社</del> <del>パワードメイン</del> 原子力事業部			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
※ ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017	令和元年 11月19日	良	目視
備考 ※：検査対象のうちループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線から弁2V-RC-017上流側第2溶接線の範囲について確認			

川内原子力発電所第2号機			
外観検査記録			
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所 三菱重工業株式会社 <del>パワートメイン</del> 原子力事業部			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
※ ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017	令和元年 11月25日	良	目視
備考			
※：検査対象のうち、ループA低温側1次冷却材管分岐点、ループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第2溶接線及びループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線について確認			

川内原子力発電所第2号機			
組立て及び据付け状態を確認する検査記録			
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017	令和元年 11月25日	良	目視
備 考			

川内原子力発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

三菱重工株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備

主配管：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。  
・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	規定保 持時間 (分)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧 気圧 区分	検査 結果	検査方 法
ループA低温側 水 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017 ※1	17.16	21.45	10	21.8	12	21.8	水圧	良	目視

備考

別紙

※1：資料2-2「検査範囲図」※の溶接部を除く。

※：検査対象のうち、ループA低温側1次冷却材管分岐点からループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線の範囲に70℃確認



川内原子力発電所第2号機										
耐圧検査、漏えい検査記録										
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所										
三菱重工業株式会社 <del>パワートラック</del> 原子力事業部										
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備										
主配管：一式										
判定基準： ・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。 ・著しい漏えいがないこと。										
検査対象	最高使用圧力 (MPa)	耐圧検査規定圧力 (MPa)	規定保持時間 (分)	耐圧検査時圧力 (MPa)	保持時間 (分)	漏えい検査時圧力 (MPa)	水圧気圧区分	検査年月日	検査結果	検査方法
※2 ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017 ※1	17.16	21.45	10	22.6	11	22.6	水圧	令和7年 11月19日	良	目視
備考 ※1：別紙「検査範囲図」※の溶接部を除く。 ※2：検査対象のうちループA低温側1次冷却材管分岐点下流側第6溶接線から弁2V-RC-017上流側第2溶接線の範囲について確認										

川内原子力発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録（代替検査）

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備  
主配管：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。  
・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用圧力 (MPa)	耐圧検査規定圧力 (MPa)	規定保持時間 (分)	耐圧検査時圧力 (MPa)	保持時間 (分)	漏えい検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧区分	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017 ※1	17.16	21.45	10	—	—	—	—	令和元年 11月25日	良	目視

備考 引紙

※1：資料2-2「検査範囲図」※の溶接部に限る。

技術基準第2.1条の解釈に示す一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)」が準拠する、同学会「溶接規格 (JSME S NBI-2007) N-5140 準用の N-1100 の規定が示す放射線透過試験の判定基準により確認。

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年10月18日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2019年10月7日 2020年4月6日	
以下余白						

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年11月19日

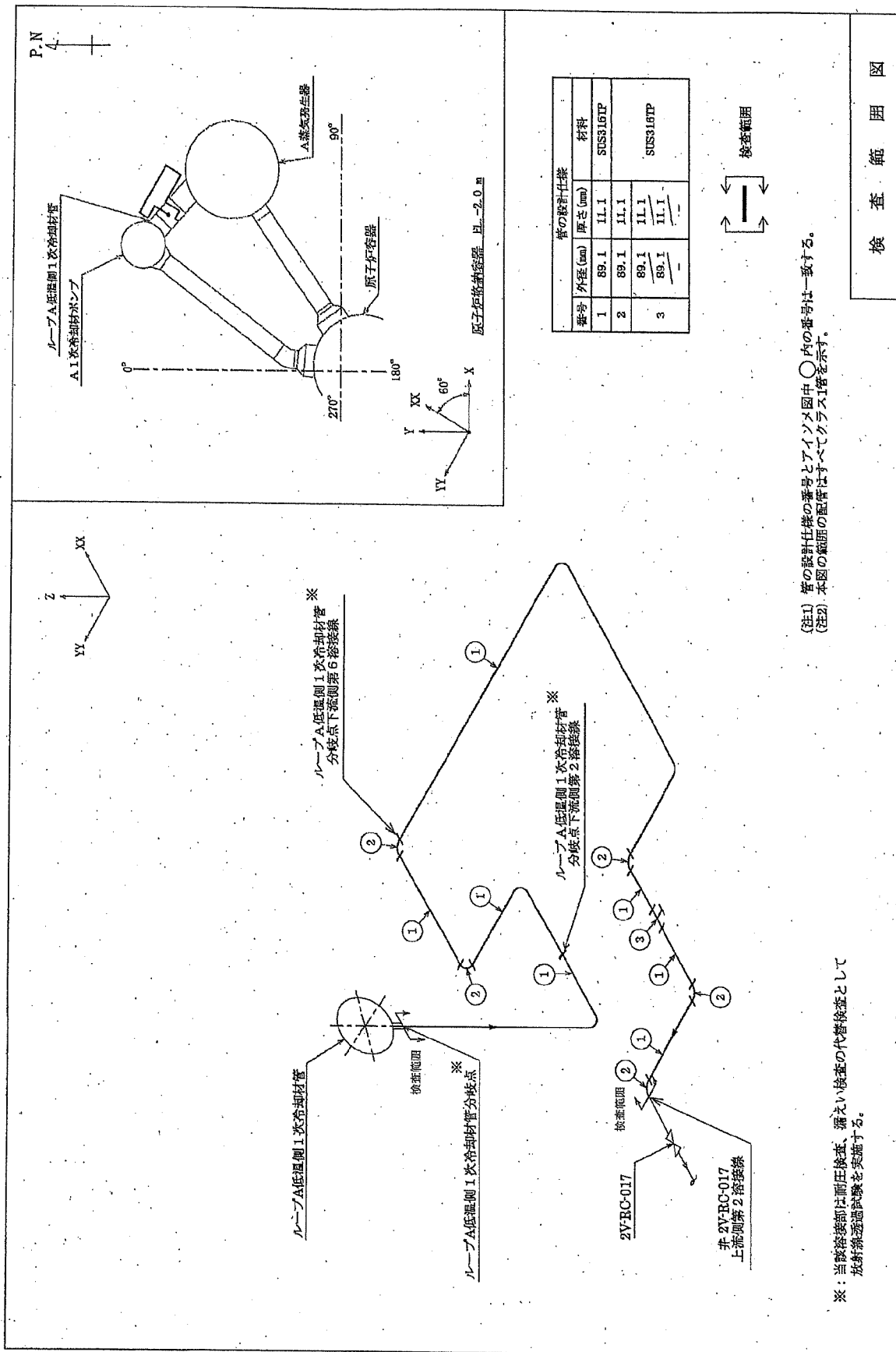
検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2019. 10. 4 2020. 1. 31	
耐圧検査 漏えい検査	圧力計				2019. 10. 4 2020. 1. 31	
以下余白						

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年11月25日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏えい検査	分類ゲージ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019. 4. 25 2020. 4. 30.	
耐圧検査、 漏えい検査	透過写真 観察器				2019. 5. 29 2020. 5. 31	
耐圧検査、 漏えい検査	濃度計				2019. 6. 4 2020. 6. 30	
以下余白						



検査範囲図

(注1) 管の設計仕様の番号とアイソメ图中○内の番号は一致する。  
 (注2) 本図の範囲の配管はすべてクラス1管を示す。

※: 当該接続部は耐圧検査、漏えい検査の代替検査として放射線透過試験を実施する。

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機

発電用原子炉の臨界反応操作を開始  
することができる状態になった時に係る  
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設

系統名 : 一次冷却材の循環設備  
主配管

要領書番号 : 原規規収第第 1909172 号 03

令和元年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になった時に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
原発本第97号 (令和元年9月17日)  
原発本第115号 (令和元年10月7日)
- 4 検査期日 自 令和元年12月12日  
至 令和元年12月13日
- 5 検査場所 九州電力株式会社川内原子力発電所  
鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山
- 6 検査範囲 川内原子力発電所第2号機  
発電用原子炉施設  
原子炉冷却系統施設  
一次冷却材の循環設備  
主配管 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり



## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者 印
系統機能検査 バウンダリ構成 確認検査	良	令和元年12月 <sup>12</sup> / <sub>13</sub> 日	令和元年12月 <sup>12</sup> / <sub>13</sub> 日
		山形英男 印	発電用原子炉 主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100%; height: 40px; margin-bottom: 10px;"></div> ボイラー・タービン主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100%; height: 40px;"></div>

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 バウンダリ構成確認検査記録
- 3 検査用計器一覧表

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月 13日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変 更申請を含む。）を記載す る。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 12月 13日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 12月 13日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

## 系統機能検査

## バウンダリ構成確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元 年 12月 12日	良	
		月 日		
		年 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元 年 12月 12日	良	
		月 日		
		年 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元 年 12月 12日	良	
		月 日		
		年 日		
系統構成が完了していること。	<del>立会/ 記録確認</del>	令和元 年 12月 12日	良	
	立会/ 記録確認	月 日		
	立会/ 記録確認	年 日		

川内原子力発電所第2号機

## バウンダリ構成確認検査記録 (1/2)

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式

判定基準：原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器に異常がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017*2	令和元 年 12月 12日 13	良	目視/ <del>記録確認</del>

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。~~~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

※2：資料2-2「検査範囲図」※の溶接線。

別紙

・詳細は、バウンダリ構成確認検査記録(2/2)による。

川内原子力発電所第2号機

## バウンダリ構成確認検査記録 (2/2)

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式

検査対象	最高使用 圧力 MPa	耐圧確認 規定圧力 <sup>※3</sup> MPa	耐圧確認 時圧力 MPa	保持 時間 分	漏えい 確認時圧力 MPa	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ～ 弁 2V-RC-017 <sup>※2</sup>	17.16	16.96	17.25	12	17.25	水圧	令和元年 12月13日	良	目視/ 記録確認

備考：

~~記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。~~~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

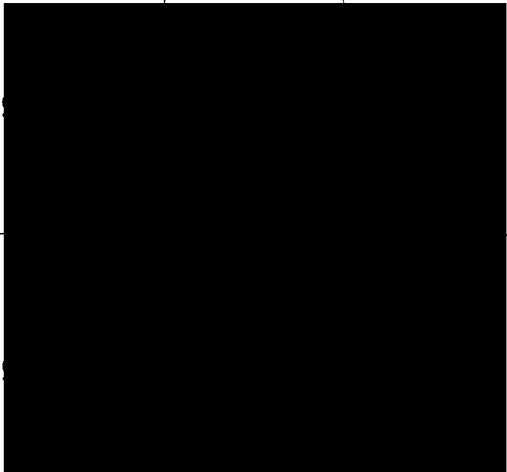
※2：資料を別添「検査範囲図」※の溶接線

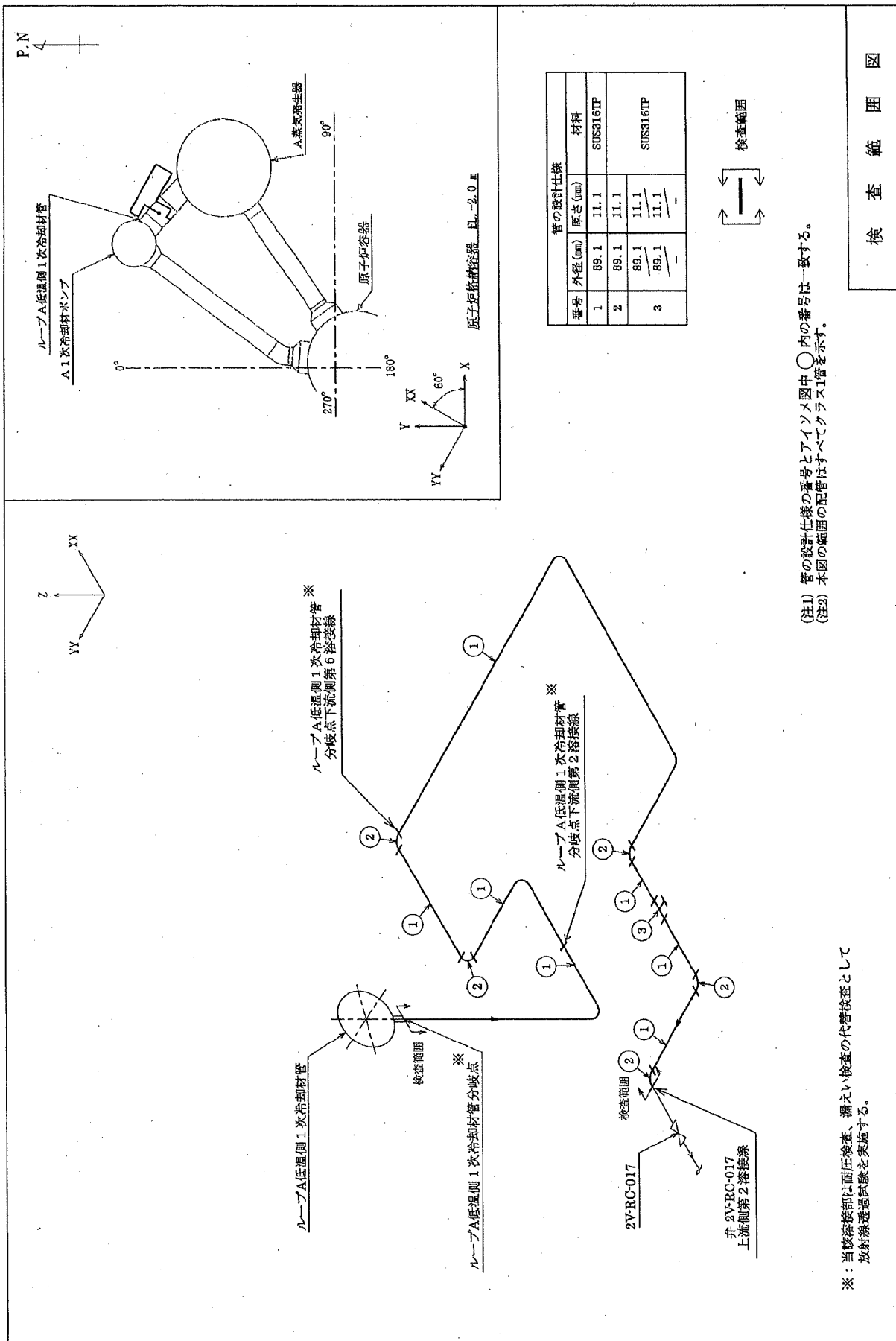
※3：発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (2005年版 (2007年追補版を含む)) (JSME S NC1-2005/2007) PHT-2121の規定に準拠し、通常運転時における圧力 (15.41MPa) の1.1倍の圧力

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

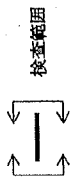
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元 年 12<sup>12</sup> 月 13<sup>13</sup> 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統機能 検査	圧力計				2019. 6. 7 2020. 6. 6	
系統機能 検査	圧力計				2019. 6. 7 2020. 6. 6	
/						



管の設計仕様			材料
番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	
1	89.1	11.1	SUS316TP
2	89.1	11.1	SUS316TP
3	89.1	11.1	



(注1) 管の設計仕様の番号とアイソメ图中○内の番号は一致する。  
 (注2) 本図の範囲の配管はすべてクラス1管を示す。

検査範囲図

※：当該接続部は面圧検査、漏えい検査の代替検査として放射線透過試験を実施する。

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機

工事の計画に係る全ての  
工事が完了した時に係る  
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：一次冷却材の循環設備  
主配管

要領書番号：原規規収第第 1909172 号 04

令和元年12月

原子力規制委員会



使用前検査成績書

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査の種類 工事の計画に係る全ての工事が完了した時に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号  
原発本第 97号 (令和元年 9月17日)  
原発本第115号 (令和元年10月 7日)  
原発本第167号 (令和元年12月16日)
- 4 検査期日 自 令和元年12月23日  
至 令和元年12月23日
- 5 検査場所 九州電力株式会社川内原子力発電所  
鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山
- 6 検査範囲 川内原子力発電所第2号機  
発電用原子炉施設  
原子炉冷却系統施設  
一次冷却材の循環設備  
主配管 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

## 検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統機能検査 通水検査	良	令和元年 12月 23日	令和元年 12月 23日
		増本 豊 <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span>	発電用原子炉主任技術者 <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span>
		大江 勇人 <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span>	ボイラー・タービン主任技術者 <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span>

8 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 通水検査記録

川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査前確認事項

## 共通事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月23日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 12月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 12月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

## 川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録

## 検査前確認事項

系統機能検査

通水検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。(立会の場合に限る)	立会/ <del>記録確認</del>	令和元年 12月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

川内原子力発電所第2号機			
通水検査記録			
検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管：一式			
判定基準：異常なく通水できること。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
ループA低温側 1次冷却材管分岐点 ~ 弁 2V-RC-017	令和元年 12月23日	良	目視/ <del>記録確認</del>
備考 ・ <del>記録確認は、申請者の品質記録（※）による。</del> ※： <del>適合性確認検査成績書の識別番号。</del>			